

## 雄武町ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化の影響とみられる気候変動の影響により、猛暑や大規模台風、集中豪雨などの自然災害が国内外で頻発し、各地で甚大な被害が発生しています。

このような地球規模の気候変動の影響を受けて2015年に採択されたパリ協定を踏まえ、我が国においても2020年に「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラルを目指す」という目標が設けられました。

雄武町は、オホーツク海の豊かな漁場や広大な草地と森林資源によって育まれてきた町であり、この豊かな自然環境を後世に引き継ぐため、これまでごみの減量化や資源リサイクルの推進、省エネによるエネルギーの有効活用などに取組んできましたが、今後は私たち一人ひとりが地球環境についてより一層の関心を持ち、脱炭素への取組を進めていくことが必要となります。

よって、町民や事業者の皆様と共に脱炭素社会の実現に向けた取組を推進し、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティおうむ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和6（2024）年12月11日

雄武町長 高橋健仁